

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択(卒業 / 保育士)
授業科目名：ボランティア概論 英語表記：Introduction to Voluntary Action ナンバリング：1006		単位数：2単位 (半期) 講義	担当教員名：伊藤道雄 担当形態：単独
科目/系列	/教養科目		
施行規則に定める科目区分 または事項等/教科目	/外国語、体育以外の科目		
【授業の到達目標及びテーマ】 1. 自らの考えで様々な問題に取り組むことがボランティア活動であることを知る。 2. 自身の興味や関心で、自分の時間や環境の範囲でできる活動であることが理解できる。 3. 社会で起きている問題に関心を持ち、考え、行動することができる。			
【授業の概要】 ボランティアの意義や歴史、種類(領域)、課題等の基本的な事柄を学び、自ら課題を見つけ、調べ、まとめ、発表する活動を行い、ボランティア活動を理解する。			
【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】			関連性
【知識・理解・技能】			
1. 保育・教育に必要な専門的知識を修得している。			○
2. 子どもの心身の発達特性や健康について理解している。			
3. 保育・教育の実践的な技能を身に付けている。			○
【思考・判断・表現】			
1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。			○
2. 保育者として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。			
3. 保育・教育の意図やねらいを、保育実践を通して表現することができる。			○
【関心・意欲・態度】			
1. 子どもを取り巻く社会の現状に関心を持っている。			○
2. 保育・教育に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。			○
3. 子どもの権利と最善の利益を尊重する態度を身に付けている。			○
【授業計画】 第1回：オリエンテーション、ボランティア活動の実施状況調査 第2回：ボランティアの基本を知る。 第3回：ボランティアにおける社会問題の捉え方 第4回：ボランティア活動を具体的に考えよう 第5回：ボランティア活動が盛んになった時期 第6回：歴史の中に出現するボランティア(戦前) 第7回：歴史の中に出現するボランティア(戦後) 第8回：人はなぜボランティアを行うのか(動因・モチベーション) 第9回：「公共」はだれが担うのか(コミュニティ活動) 第10回：法人とボランティア団体 第11回：情報とネットワーク社会とボランティア 第12回：地域の課題を発見する 第13回：市民の視点からの解決を探る 第14回：教育・福祉とボランティア 第15回：災害とボランティア 定期試験：筆記		【授業時間外の学習】 (授業前後には、合わせて1時間程度の自主学習を要する。) 1. 今までの自分のボランティア活動をまとめる。 2. 自らのボランティア学習への動機を考える。 3. 思想家や宗教とボランティアの関係調べる。 5. 祖父母、父母等のボランティア活動の体験を聞く。 7. ボランティア活動のモチベーションを推察する。 10. NPO法人を調べる。 11. 情報社会のボランティア活動の内容を調べる。 12. 地域の課題を調べる。 14. 教育・福祉の活動内容を調べる。 15. これまでの学習内容をまとめる。	

【授業の方法】 基礎的な項目は講義を行い、その後、調べ学習・討議、発表形式で進める。ボランティアの実践記録、感想、授業のまとめ等グループワークを取り入れ、それぞれの気づきを共有できるよう教員がコメントする。	
【テキスト】 「ボランティアの基礎」久米隼二 日本橋出版	
【参考書・参考資料等】 適宜紹介	
【学生に対する評価】 定期試験(60%)、提出物(10%)、活動報告(20%)、授業参画度(10%)、ルーブリックを活用して総合的に評価。	
【履修上の注意】 積極的に学習しようとする者・実際のボランティア活動を希望しようとする者を望む。	
実務経験の有無：有	実務経験：元身体障害者地域啓発団体職員、元施設職員
【実務経験を生かした教育内容】 身体障害者団体勤務の経験を活かし、ボランティア活動の意義を伝える。	